資料５

令和６年度　錦川鉄道生活交通改善事業計画（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）

１　事業の目的・必要性

錦川清流線は、過疎化・高齢化の進む沿線地域において通勤・通学・通院等の住民生活を支える重要な交通手段となっているが、旧国鉄岩日線川西～河山間の開業以来50年以上が経過し施設全体の老朽化が進んでいる。

ケーブル交換、電子閉塞装置制御盤改修、レールの交換【重軌条化・同種更新】、マクラギの交換【ＰＣマクラギ化・同種更新】、道床補充【ＭＴＴによる総つき固め】を行う事により、近年頻発する異常気象による自然災害に対する災害対応能力を強化し防災・減災に努めるとともに、輸送の安全を保つ必要がある。

また、平成20年に導入した車両に全般検査等を実施することによって、輸送の安全の確保を図る。

２　事業の定量的な目標及び効果

錦川清流線は、開業以来赤字経営を余儀なくされており（令和４年度経常損失155,413千円）、損失補てん等のために積み立てた基金の減少も著しい（開業当初660,000千円から令和５年度末33,789千円に減少）。こうした中、鉄道施設総合安全対策事業費補助（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）等を活用し、老朽化した鉄道施設の更新を行うことにより災害対応能力を強化し防災・減災に努めることで、13万0千人（令和５年度年間利用者）の輸送の安全を向上させる。

３　事業の内容と当該事業を実施する事業者

別紙１に記載

４　事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和６年度事業費（令和5年度補正）　111,070千円

負担額	国	：	33,509千円	（負担割合　30.17％）
	山口県	：	5,049千円	（負担割合　4.55％）
	岩国市	：	10,099千円	（負担割合　9.09％）
	基金	：	5,053千円	（負担割合　4.55％）
	錦川鉄道	：	57,360千円	（負担割合　51.64％）

５　計画期間

別紙１に記載

６　協議会の開催状況と主な議論

令和６年５月24日（第１回）　事業内容、費用負担について議論

費用負担を含む計画全体について合意

（協議会の構成）

別紙２「岩国市地域公共交通活性化再生法協議会委員名簿」のとおり

岩国市地域公共交通活性化再生法協議会

令和６年５月24日

資料５

別紙１

鉄 道 軌 道 安 全 輸 送 設 備 等 整 備 事 業 計 画

事業実施事業者名：錦川鉄道株式会社

５ 年

（単位：千円）

設備・保存費の区分	整 備 の 概 要	令和5年度（2023年度） 令和4年度補正		令和6年度（2024年度） 令和5年度補正		令和7年度（2025年度）		令和8年度（2026年度）		令和9年度（2027年度）		令和10年度（2028年度）		備 考
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
信号、通信線	ケーブル更新	22,860	南河内～行波 9K595M～11K058M L=1,463M	24,800	南河内～北河内間 10K986m～12K450m L＝1,464m	27,200	南河内～北河内間 12K450m～13K850m L＝1,396Km	30,300	河山～錦町間 30K950m～32K727m L＝1,777Km	27,150	森ヶ原～清流新岩国間 3K810m～5K218m L＝1,410Km	24,050	守内かさ神～南河内間 7K340m～8K590m L＝1,250Km	
電子閉塞装置	制御盤改修			5,500	錦町構内 制御盤1台									
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新	7,440	河山～柳瀬 28k345m～28k460m 92本											
橋りょう	橋梁コンクリート補強					3,100	清流新岩国～守内かさ神 1箇所			3,150	守内かさ神～南河内 1箇所	6,250	森ヶ原～錦町 1箇所	
小　計		30,300		30,300		30,300		30,300		30,300		30,300		
レール	重軌条化	5,350	行波～北河内駅間 11k846m～11k976m L＝130M	5,500	北河内～椋野駅間 14k439m～14k539m L＝110m			6,600	行波～北河内駅間 11k299m～11k466m L＝167m	6,700	森ヶ原～錦町駅間 1k900m～32k700m L＝150m	7,000	森ヶ原～錦町駅間 1k900m～32k700m L＝150m	
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新			7,600	河山～柳瀬 28k460m～28k542m 64本	7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 64本	7,600	河山～柳瀬 28k000m～29k000m 80本	7,600	河山～柳瀬 28k000m～29k000m 78本	7,600	河山～柳瀬 28k000m～29k000m 76本	
橋りょう	橋側歩道新設	8,650	北河内～椋野 15k222m～15k244m L=21.4m			9,300	北河内～椋野 20k514m～20k524m L=19.2m							
マクラギ	木製マクラギの更新 【同種更新】	9,600	北河内～椋野　橋ﾏｸﾗｷﾞ52本 根笠～河山間　並ﾏｸﾗｷﾞ50本	9,600	北河内構内　分岐ﾏｸﾗｷﾞ10本 根笠～河山間　並ﾏｸﾗｷﾞ210本	9,600	森ケ原～錦町間 280本	9,600	森ケ原～錦町間 270本	9,600	森ケ原～錦町間 260本	9,600	森ケ原～錦町間 250本	
レール	レールの更新 【同種更新】	1,200	行波～北河内間 13K250m～13K300m L＝50m	1,200	行波～北河内間 13K300m～13K350m L＝50m	1,200	森ケ原～錦町間 50m	1,200	森ケ原～錦町間 50m	1,200	森ケ原～錦町間 50m	1,200	森ケ原～錦町間 50m	
軌道道床	MTTによる総つき固め	13,290	南桑～河山間 26K500m～31K800m L＝3,000M	13,290	清流新岩国～行波間 3K900m～9K700m L＝2,900M	13,290	森ケ原～錦町間 2,800m	13,290	森ケ原～錦町間 2,850m	13,290	森ケ原～錦町間 2,800m	13,290	森ケ原～錦町間 2,750m	
車両	車両制御装置の更新			1,440	3001号 1両									
車両	重要部検査			23,790	3003号 1両			12,500	3001号 1両	12,500	3002号 1両	12,500	3002号 1両	
車両	全般検査	23,000	3002号 1両	14,900	キハ40 1両	23,790	3004号 1両							
車両	車輪交換			3,450	3004号 1両	3,450	3002号 1両							
小　計		61,090		80,770		68,230		50,790		50,890		51,190		
合　　計		91,390		111,070		98,530		81,090		81,190		81,490		

注）1．「設備・保存費の区分」欄は、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に関する運用方針」別表の工事内容の区分又は鉄道事業会計規則に基づき記載すること。

2．計画期間内において実施する設備整備がない場合は、「事業費欄」に「０」を記載すること。

3．必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。

資料５

別紙１

（単位：千円）

設備・保存費の区分	整　備　の　概　要	令和5年度補正分						
		全体		国	県	市	基金	事業者
		事業費	整備対象箇所					
信号、通信線	ケーブル更新	24,800	南河内～北河内間 10K986m～12K450m L＝1,464m	8,266	4,133	8,266	4,135	0
電子閉塞装置	制御盤改修	5,500	錦町構内 制御盤1台	1,833	916	1,833	918	0
小　計		30,300		10,099	5,049	10,099	5,053	0
レール	重軌条化	5,500	北河内～椋野駅間 14k439m～14k539m L＝110m	1,833				3,667
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新	7,600	河山～柳瀬 28k460m～28k542m 64本	2,533				5,067
マクラギ	木製マクラギの更新 【同種更新】	9,600	北河内構内　分岐ﾏｸﾗｷﾞ10本 根笠～河山間　並ﾏｸﾗｷﾞ210本	3,200				6,400
レール	レールの更新 【同種更新】	1,200	行波～北河内間 13K300m～13K350m L＝50m	400				800
軌道道床	MTTによる総つき固め	13,290	清流新岩国～行波間 3K900m～9K700m L＝2,900M	4,430				8,860
車両	車両制御装置の更新	1,440	3001号 1両	480				960
車両	重要部検査	23,790	3003号 1両	5,947				17,843
車両	全般検査	14,900	キハ40 1両	3,725				11,175
車両	車輪交換	3,450	3004号 1両	862				2,588
小　計		80,770		23,410	0	0	0	57,360
合　　計		111,070		33,509	5,049	10,099	5,053	57,360
負担率（%）		100%		30.17%	4.55%	9.09%	4.55%	51.64%

収支計画参考資料　　（単位：千円）

	Ｒ５（暫定）	Ｒ６		Ｒ７		Ｒ８		Ｒ９		Ｒ１０	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
旅客運輸収入	42,574	46,553		52,412		52,768		53,124		53,480	
運輸雑収	23,283	23,583		23,883		24,183		24,483		24,783	
収入計	65,857	70,136	0	76,295	0	76,951	0	77,607	0	78,263	0
運行費用	185,680	200,580		185,680		185,680		185,680		185,680	
鉄道事業収支	-119,823	-130,444	0	-109,385	0	-108,729	0	-108,073	0	-107,417	0
その他関連事業収支	17,366	17,366		17,366		17,366		17,366		17,366	
全事業収支	-102,457	-113,078	0	-92,019	0	-91,363	0	-90,707	0	-90,051	0

①増収策内訳		1,487	0	2,143	0	2,799	0	3,455	0	4,111	0
企画・イベント列車		1,187		1,543		1,899		2,255		2,611	
鉄印帳等／運輸雑収		300		600		900		1,200		1,500	
②経費削減策内訳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
改善効果（①＋②）		1,487	0	2,143	0	2,799	0	3,455	0	4,111	0

年度	旅客運輸収入
H30	45,366
R1	50,869

「旅客運輸収入」の算定については以下のとおりとする

Ｒ6は、H30と同程度の収入を見込み、さらに「①増収策（企画・イベント列車）」の増加分を加算する

Ｒ7以降は、R1と同程度の収入を見込み、さらに「①増収策（企画・イベント列車）」の増加分を加算する

「運輸雑収」の算定については以下のとおりとする

Ｒ6以降は、不確定要素もありＲ5の水準で移行すると見込み、さらに「①増収策（鉄印帳等）」の増加分を加算する

「運行費用」の算定については以下のとおりとする

Ｒ6以降は、経営努力により維持すると見込む（物価上昇は通常経費見直しで相殺）

Ｒ6はキハ40の重要部検査（+14,900）を見込む

「関連事業収支」の算定については以下のとおりとする

Ｒ6以降は、 Ｒ5と同程度の収支（25,366）で移行するとと見込む

「企画・イベント列車」はＲ6計画（39本、予定定員1,130人、1,695千円）を基準とし、算定については以下のとおりとする

Ｒ6は、計画の催行率70%を見込む

Ｒ7は、R6の130%を見込む

Ｒ8は、R6の160%を見込む

Ｒ9は、R6の190%を見込む

Ｒ10は、R6の220%を見込む

イベント	運行本数	1回定員	予定参加	運輸収入
みはらし列車	12	30	360	529
利き酒列車	8	50	400	588
運転体験	7	10	70	137
その他団臨	12	25	300	441
合　計	39		1,130	1,695

「鉄印帳等／運輸雑収」は上の表のとおりの増収を見込む

全事業収支は営業損益

資料５

鉄道事業者の収支改善計画

（単位：百万円）

	R5(暫定)	R6		R7		R8		R9		R10	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
旅客運輸収入	43	47		52		53		53		53	
運輸雑収	23	24		24		24		24		25	
収入計	66	71	0	76	0	77	0	77	0	78	0
運行費用	186	201		186		186		186		186	
鉄道事業収支	-120	-130	0	-110	0	-109	0	-109	0	-108	0
その他関連事業収支	17	17		17		17		17		17	
全事業収支	-103	-113	0	-93	0	-92	0	-92	0	-91	0

（上記鉄道事業収支計画に盛り込んだ ①増収策、②経費削減策 の具体的な内容（内訳））

①増収策内訳		1	0	3	0	3	0	3	0	5	0
企画・イベント列車の販促強化		1		2		2		2		3	
鉄印帳等（運輸雑収）		0		1		1		1		2	
②経費削減策内訳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
改善効果(①＋②)		1	0	3	0	3	0	3	0	5	0

① 増収策　　企画・イベント列車の販促強化　／　清流みはらし列車、利き酒列車、運転体験など
　　鉄印帳等（運輸雑収）　／　鉄印帳を活用した企画、新規鉄印開発など